

東播磨地域高校生による提案の活用

提言概要

めざすべき方向性

- 今あるものを生かしたまちづくり（地域資源、既存の地域の組織、制度など）
- 地域を知って、みんなでまちづくり（地域住民があらゆる地域の課題に携わる）

テーマ別の方向性・主な意見

1 地域の課題は地域の特性で解決

<趣旨>

- ・地域の課題を地域の魅力や特性を生かして新しいものに発展させる。
- ・既存の魅力を活かしつつ、新しい魅力をつくる。

<主な意見>

- ・従来からある取組と地域の魅力、特性を融合して課題解決する。
- ・空き家などは資源として新しいビジネスとして生かす。
- ・利便性の問題は、標高が低い・傾斜が小さい、坂道が少なく自転車に乗りやすいという地域の環境で解決する。
- ・新しい時代の特産物やつくりかたを提案していく。

2 子育てできるまちは安心できるまち

<趣旨>

- ・地域全体で子育て世代を支援し、すべての世代が安心して暮らせるまちへ

<主な意見>

- ・既存の地域の組織を活用し地域一体となった子育て支援を目指す。
- ・シニア世代が組織としてファミリーサポートに加わることができる制度をつくる。
- ・各世代（シニア世代、子育て世代、子ども世代）のメリットとして、今まで以上に安心して暮らせる場所になる。

3 地域を知って助け合い

<趣旨>

- ・年齢、性別、職業を問わず、すべての人に地域を知る機会を与えることは、様々な人が地域の課題解決に協力できる可能性につながる。

<主な意見>

- ・新しい情報提供体制を推進し、情報を手に入れやすいように工夫。地域の課題などに直接関わりのなかった人々が関心、関わりを持ち新しい活動につながる。
- ・農業関連サイトの立ち上げにより、農作業の手伝いや農業に関する意見交換会の情報を発信。
- ・課題対策のための取組に参加（例：舗装のデザイン、舗装アート）することが、より良いまちづくりを目指すことにつながる。

スケジュール（実績）

○県立播磨南高等学校 「播磨町のまちづくり探究」授業 1年生

令和2年10月21日（水）特別授業見学（最終発表会：未定）

○県立東播工業高等学校 土木科2年

令和2年11月12日（木）「わたしたちが考えるハリマのみち」 提案発表

○県立東播磨高等学校 「特色類型」1年生

令和2年11月16日（月）探究グループとの意見交換会（最終発表会：2/8）

○県立加古川東高等学校 STEAM 特別講座「加古川市の地域デザインを考えよう」

令和2年12月23日（水）発表会

「シニア世代による子育て支援」、「ウェルネス都市かこがわ発展計画」、

「“助け合い農業”で新しい加古川を作り出そう」

○県立農業高等学校 園芸科1, 2年生

令和3年1月13日（水）「ひょうごの農」に提案する会 提案発表